

アサヒ飲料株式会社北陸工場の企業の森づくり活動が行われました！

令和2年9月26日（土）、黒部市宇奈月町下立滝ヶ平地内において、アサヒ飲料株式会社北陸工場の「第4回 森づくり活動」が行われました。

アサヒ飲料では、黒部川扇状地からの伏流水を使用し、“水”に関わる飲料や食品を製造・販売していることから、平成29年度より水源地保全のための森づくり活動を行ってまいります。

植樹当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し参加者を限定して開催されました。社員、下立財産区、黒部市、新川森林組合、新川農林振興センターの参加者26名により、クリの苗木150本を植樹しました。

参加者の皆さんは、掘った土とバーク堆肥を丁寧に混ぜ合わせ、大きく育ち立派な実がなるようお願いを込めておられました。なお、今回使用されたバーク堆肥には、アサヒ飲料の製造工程で生じた“コーヒー粕”を混ぜ込んでおり、資源の循環利用にも取り組んでおられました。

さらに今年度は、アサヒ飲料が銘板を、下立財産区が駐車場を整備され、より多くの方が訪れ楽しめる森を目指し、地域と連携して環境整備に努められています。

新川農林振興センターでは、水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりを推進するため、今後も「企業の森づくり活動」を支援してまいります。



新たに整備された銘板と共に参加者の皆さんで記念撮影



開会式の様子



第1回に植えたクリの木に実が沢山生っていましたがサルがほとんど食べてしまったとのことです。



植樹方法と注意事項について説明



植樹活動後「広葉樹の森」見学



植樹活動の様子